

2010

深見地区まちづくり協議会

事務局



[平成 22 年度事業 (活動) 計画]

深見地区住民からのアンケートを基に深見地区まちづくり協議会 4 部会にて平成 22 年度の活動計画を策定

平成22年度 事業（活動）計画

【教育文化部会】

基本方針：子供たちがすくすくと育つ地域づくり		
活動内容（取り組み）	活動計画（平成22年度の具体的取り組み）	
夏休みなどの長期休暇を利用したイベント、餅つきやホタル鑑賞など季節に合ったイベントを開催する。	子供体験合宿	<ul style="list-style-type: none"> － 夏休みを利用して子供達、及び深見地区住民が2泊3日ぐらい歩いて深見を発見する － 夜は大人が先生となって歴史や農業の魅力を教える － 夜、地域料理を作る － 史跡マップ、ポスターの作成 － 深見春祭りで（成果）発表
里山を利用した自然あふれる子供達の遊び場を作る	子供たちへのスポーツ活動や遊び場の支援	
子供たちが元気で遊んだり、スポーツができる場所を作る 少年少女のスポーツ活動を支援する		<ul style="list-style-type: none"> － 中学校のグラウンドを子供達で使えるようにする
子供たちへ地域の伝統的な遊びや工芸品の伝授、歴史や文化を伝える場を作る。 高齢者と子供の交流。	ふれあい給食	1, 2年生の「お爺ちゃん、お婆ちゃん学級」に老人会の方もお出で頂き交流活動を行い、給食も一緒に食べて交流を深める
子供たちに田舎の良さ、農業の魅力を伝える。自然学校・農林業体験学校の開催。	お出かけ先生	<ul style="list-style-type: none"> － 「地域づくり」、「細菌学」を研究している大学の先生や学生にお話しをしていただき豊かな子供たちを育てる教育
	爺・婆先生 小学校へ行く	<ul style="list-style-type: none"> － 学校園を利用し、地域の野菜作り名人に先生になって頂き野菜作りを行う。 収穫した野菜を調理して食べる
保育園や小学校と連携した地域行事を開催する。学校行事を通して子供と地域との交流。PTA と地域の連携活動。		9月のふれあい大運動会を前にした PTA の除草作業に地域の方のご協力を可能な範囲で頂く

【教育文化部会】

基本方針：みんなで学び、みんなでスポーツのできる環境づくり。		
活動内容（取り組み）	活動計画（平成22年度の具体的取り組み）	
地域住民が参加できるような学校行事の開催	ふれあい芸術会	「宇佐市教育の日」に小学校が教育文化祭やふれあい音楽会を行い地域の方々に来てもらう

平成22年度 事業（活動）計画

催。学校行事への協力支援。		らう。 ・昨年は音楽会等を行うことができたがそれが無理なら協議会に出していただける 予算内で地域の人と芸術活動にふれる機会を持つていく
コミュニケーターとの共同による生涯学習に関する各種教室の設置。	おらが村の自慢料理教室	調理講習会を開催して地域の郷土料理を指導する。昔の料理を習う。 (味噌漬け、コンヤク、味噌づくり、お豆腐 等)
歴史などの研究・調査の場、発表の場を作る。歴史、史跡マップを作る。		宿泊学習（子供体験合宿）の中でやる。
中学校の跡地や体育館を利用してイベントの開催		中学校の跡地を利用して深見地区秋祭りを開催 － 文化活動を通じて住民とふれあう － 活動の発表の場にする － 10月31日を予定している

【教育文化部会】

基本方針： ふるさを見つめ伝統・文化をまもり次世代に引き継ぐ仕組みづくり。		
活動内容（取り組み）	活動計画（平成22年度の具体的取り組み）	
地域共同での文化保存、伝統行事開催。伝統工芸品の作成。伝統文化の子供たちへの指導、継承。		
地元のお年寄りや研究者などから、子供たちへ歴史や文化を教える。子供たちに関心を抱かせる活動。		宿泊学習（子供体験合宿）の中でやる。
隠れた歴史、文化資源の発掘、調査研究。文化、歴史講座の開催。史跡、文化財の案内表示板の作成設置。文化財と観光施設の情報発信。		宿泊学習（子供体験合宿）の中で考えてゆく。
観光協会や行政からの観光情報発信。別府、湯布院、宇佐神宮を含めたルート設置。		
伝統芸能、棚田、滝、自然食を生かした観光振興。旧深見中学校の利用で、食と文化の体験とふれあい観光。		秋祭りで食と文化の体験をする。

平成22年度 事業（活動）計画

各集落の自慢をマップ化、ポスター化。名勝・史跡・観光マップの作成。		宿泊学習（子供体験合宿）の中でやる。
-----------------------------------	--	--------------------

【教育文化部会】

基本方針：観光資源の有効利用で地域の活性化		
活動内容（取り組み）	活動計画（平成22年度の具体的取り組み）	
観光協会や行政からの観光情報発信。別府、湯布院、宇佐神宮を含めたルート設置。		
伝統芸能、棚田、滝、自然食を生かした観光振興。旧深見中学校の利用で、食と文化の体験とふれあい観光。		秋祭りで食と文化の体験をする。
各集落の自慢をマップ化、ポスター化。名勝・史跡・観光マップの作成。		宿泊学習（子供体験合宿）の中でやる。

平成22年度 事業（活動）計画

【生活環境部会】

基本方針：みんなで協力し高齢者や子どもたちを犯罪から守る安全安心な地域づくり。		
活動内容（取り組み）	活動計画（平成22年度の具体的取り組み）	
防犯について協議をし、対策を考え、実行する。地区内のパトロールを警察に要請する。地域内の情報交換。	自主「防犯」「防災」組織づくりの準備	消防団・交通安全協会を中心とした、「防犯」「防災」に関する組織を作り協議する。
外灯、防犯灯の調査を行い、必要に応じて修繕、設置をする。		調査点検活動を行う。 －外灯・防犯灯 －交通・災害危険場所 －交通安全施設
声かけ運動や防犯パトロールを実施する。自家用車に防犯ステッカーをつけて啓発活動。		次年度へ持ち越し
子どもたちへの見守り運動、声かけ運動、あいさつ運動の実施。		子供たちへの「見守り」「声かけ」「あいさつ」運動の輪が広がるよう広報紙等で呼びかける。
高齢者を犯罪から守る活動。民生委員との協力による独居老人宅の見回り。		健康福祉部会と協力し計画する。

【生活環境部会】

基本方針：地域ぐるみで自然災害や火災から生命や財産を守る安全安心な地域づくり。		
活動内容（取り組み）	活動計画（平成22年度の具体的取り組み）	
災害危険場所を調査し、対策を考える。避難場所や避難ルートの設置や確認を行い、マップを作る。	自主「防犯」「防災」組織づくりの準備	
日常的に防災に対する呼びかけ、警報の伝達訓練、避難訓練の実施。災害が予想される場合の高齢者に対する声かけや見回り体制を確立する。		
被災時の支援体制づくり。（炊き出し、片づけなど）		自治委員及び消防団との支援体制づくりに向けて協議を行う
子どもたちと一緒に火の用心運動。隣近所に声かけ防火、防災運動。		小学校と協議を行い子供達に防災についての啓発活動を行う。

平成22年度 事業（活動）計画

【生活環境部会】

基本方針：起こさず、あわず、交通事故のない地域づくり。		
活動内容（取り組み）	活動計画（平成22年度の具体的取り組み）	
地域の主要交差点での一斉交通指導の実施。		交通安全週間を中心に実施 － 指導場所を増やす
交通安全の意識の高揚、マナーアップのための交通安全教室を開く。		交通安全週間を中心に実施
交通安全施設の点検、清掃、整備		各自治区にも呼びかけを行う。
山間部や通学路等の交通危険箇所の調査を行い、必要に応じてカーブミラー、標識等の設置を要請する。		【自主「防犯」「防災」組織づくりの準備】の活動の中において実施
緊急車両が頻繁に通る路線、通りにくい道路の整備を要求する。		【自主「防犯」「防災」組織づくりの準備】の活動の中において調査 必要に応じ要請する。

【生活環境部会】

基本方針：ごみのない、きれいな地域づくり。		
活動内容（取り組み）	活動計画（平成22年度の具体的取り組み）	
地域ぐるみで月に一度はごみ拾いの日を作る。小中学校との連携によるクリーン作戦。	「自慢のわが町」づくり活動の推進	第3日曜の「クリーン活動」を呼びかけをする。 不投棄・自然環境保護のチラシ配布
仙の岩など名所・旧跡、観光地の美化活動を地区住民全体で行いPRする。		現在行っている団体と協議し、仙の岩など名所・旧跡、観光地の美化活動を地区住民全体で行いPRを行う。
環境問題、エコ活動に関する学習会を開く。ごみの分別、合成石けんの不使用などのエコ活動の推進。		環境問題、エコ活動に関する学習会を計画する。
不法投棄の調査、対策。不法投棄禁止看板や美化運動の看板をつくる。	「自慢のわが町」づくり活動の推進	不法投棄禁止看板や美化運動の看板を作る。

【生活環境部会】

基本方針：心が和む空間づくり。		
活動内容（取り組み）	活動計画（平成22年度の具体的取り組み）	
公共の場所、道路沿線の美化活動、花植え。遊休農地や休耕田を利用した花いっぱい運動。	花いっぱい運動	花いっぱい運動を展開する。
花づくりの講習会を開く。		

平成22年度 事業（活動）計画

自然環境保護。貴重な水源の山をみんなで 守る		
---------------------------	--	--

平成22年度 事業（活動）計画

【地域づくり部会】

基本方針： みんなの力で住みよいまちづくり、コミュニティづくり。		
活動内容（取り組み）	活動計画（平成22年度の具体的取り組み）	
研修会、学習会などの開催により、まちづくり協議会活動の充実を図る。	チャット先進地研修会	具体的に取り組んでいる地域で、条件的に深見地域に似たような場所に研修に行く
自治委員が集落の課題を自由に気軽に話し合える場をつくる。	人・集落の交流体制づくり	自治委員総会などを利用し自治委員と協議会との話し合いの場を作る。
自治委員より出された課題について解決方法を考え、実行する仕組みをつくる。		協議会の充実を図り、連携・支援体制を確立する。
自治区集落間、各種組織団体間の連携、協力、支援体制の確立。		
小規模、高齢化集落の支援（道路の草刈り・清掃、側溝の土砂除去など）		
まちづくり活動の情報提供。地域での活動や各種団体取り組みについて情報交換。	広報活動の充実	広報紙の発行（まちづくり便り） ホームページの開設
深見中学の跡地や校舎の有効利用を検討する。		4つの部会で協議・検討し利用計画を作る。
コミュニティ推進員制度の継続。		事務局にコミュニティ推進員を置く。

【地域づくり部会】

基本方針： 人と人との交流による活気あふれる地域づくり。		
活動内容（取り組み）	活動計画（平成22年度の具体的取り組み）	
地域、年代を超えた話し合いの場、ふれあいの場をつくる。何でも気軽に相談できる窓口をつくる。		
子供から高齢者まで地区住民が参加できる共同行事、イベントの開催。（地区体、盆踊り、まつり、伝統行事、新しいイベント等）	活気あるイベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> － ふれあい大運動会 － ひまわりまつり － 深見秋祭りの開催
不要品交換会やバザーの開催により交流を深める。		イベント開催のときコーナーを設ける。

平成22年度 事業（活動）計画

【地域づくり部会】

基本方針： 農業のあした広がる地域づくり。		
活動内容（取り組み）	活動計画（平成22年度の具体的取り組み）	
鳥獣対策助成制度、補助制度の充実を要求。猟期間の延長、及び保護区、禁猟区の撤廃を要求。市、県との協力による鳥獣対策。	鳥獣被害状況調査の実施	自治委員と協議し、被害状況・要望をまとめ その後対策を検討する。
集落全体又は集落を超えた防護策の設置、管理。荒廃地の整備を図る。		
猟師との協力により鳥獣対策の専門化、集団化を図る。猟師の育成。		

【地域づくり部会】

基本方針： みんなの知恵を出し合い潤いのある地域づくり。		
活動内容（取り組み）	活動計画（平成22年度の具体的取り組み）	
地産地消の推進による消費拡大運動を展開。	生き生き野菜生産運動	北部振興局・農協との協力体制を作り、研究（栽培）会を計画する。百笑一喜との協力により給食の食材（野菜）の生産販売を行う。

【地域づくり部会】

基本方針： 情報・交通網整備による魅力ある地域づくり。		
活動内容（取り組み）	活動計画（平成22年度の具体的取り組み）	
山間部の道路、生活道、通学路、歩道等の点検、調査を行う。調査結果を協議し、改良、整備等を要望。	生活道路保存活動	農作業時のマナーアップ活動を行う。 (農機具に付着した土・泥で歩道や道路を汚さない) *生活環境部会の【自主「防犯」「防災」組織づくりの準備】の活動に重複
交通網の整備、公共交通機関の充実に向けて協議する		

【地域づくり部会】

基本方針： 交流促進による活力あふれる地域づくり。		
活動内容（取り組み）	活動計画（平成22年度の具体的取り組み）	
地域の協力によるグリーンツーリズム活動の推進。	グリーンツーリズム活動への協力	<ul style="list-style-type: none"> － 訪問者へ挨拶（声かけ）をする。 － 要望により「遊び体験」「農業体験」の手助けをする。
UJIターンで深見に来た人、帰ってきた人などの意見を聞きあらゆる活動の参考にする。		

平成22年度 事業（活動）計画

【地域づくり部会】

基本方針： 希望に満ちた若者がふるさと定住できる地域づくり。		
活動内容（取り組み）	活動計画（平成22年度の具体的取り組み）	
子育て中の家族や若年層向けに工夫された公営住宅の建設を要望する。		

平成22年度 事業（活動）計画

【健康福祉部会】

基本方針：高齢者がいきいきと暮らせる地域づくり。		
活動内容（取り組み）	活動計画（平成22年度の具体的取り組み）	
高齢者が持っている知恵や技術を伝えていく場や機会をつくる。（協議会・老人会・学校の連携）	お婆ちゃんの知恵袋・お爺ちゃんの伝統工芸伝承活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> － 地域部会や教育部会・老人クラブと連携してしめ飾り、竹細工、籠、草履、小物づくりなどのサークルや教室の指導者募集・開設をする － 上記の中身によっては、小学校と連携して「放課後〇〇教室」という形式での開設をする
高齢者や独居老人宅の安否確認をはじめとした支援活動を進める。	「お互いさま」運動の展開	<ul style="list-style-type: none"> － 隣同士での声かけ運動、高齢者の安否確認活動。 － 集落毎に連絡網を作り高齢者や子供たちの見守り活動を展開。 － 他市が取組始めている「お守りカード」の取組をすすめる。 （臼杵市・大分市・中津市） － 市が取組んでいる「緊急通報装置」の積極的設置を呼びかける（800円/月負担） ※介護保険課に申し込み※要協力者
高齢者を支援する方策を考える。（既成のもの、方法でなく、地域の連携で）		<ul style="list-style-type: none"> － 一人暮らしの高齢者が急病になった場合の連絡等の対策を考える。 － 他市が取組み始めている「お守りカード」の取組をすすめる。（臼杵市・大分市・中津市） － 市が取組んでいる「緊急通報装置」の積極的設置を呼びかける（800円/月負担） ※介護保険課に申し込み※要協力者

【健康福祉部会】

基本方針：みんなが健やかに暮らせる地域づくり。		
活動内容（取り組み）	活動計画（平成22年度の具体的取り組み）	
保健師や栄養士の増員・常置を要請する。	「みんなが健やか」推進運動	保健師、栄養士、健康推進員の協力を得た上で、地域部会と連携しながら健康教室（〇〇体操教室・健康食料理教室）などの教室の指導者募集・開設をすすめる
健康づくり活動の場として、旧深見中学校の体育館の修理を働きかけ有効利用をする。		地域部会や教育部会と連携して健康教室（スポーツ・文化活動）などのサークルや教室の指導者募集・開設をすすめる